

平成 19 年度 動物実験に関する自己点検結果

安全管理の状況

1. 安全管理の必要な動物実験(感染・組換え・放射線・発癌等化学物質)について、管理されていると解釈できる。

実験動物の飼養保管状況

1. 飼養保管施設(以下、施設)の管理及び保守点検は行われているものの、一部記録のない施設がある。改善目標時期までの改善を待つ。
2. 飼養保管中の動物の数や状態は、概ね把握されていると解釈されるが、実験者による管理状況をどう実験動物管理者が把握するのか統一されていない。
3. 動物の入手先等を示す記録台帳のない一部の施設については、改善目標時期までの改善を待つ。実験者による納品書管理に対する施設の対応に統一性がない。
4. 動物の逸走等に関する事故については、管理されている。

マニュアルの記載内容について

1. 一部施設において、マニュアルに記載のない項目があり、改善目標時期までの改善を待つ。
2. 設問に対する誤解が含まれている。
3. 動物実験委員会は、マニュアルのない施設を承認していない。「マニュアルを作成していない」と回答した施設については、「今回をもって〇〇室としての使用を終了する」とも記載されており、今後の対応を確認する。この施設については、廃止届が受理されている。

施設等の維持管理の状況

1. いずれの施設も概要を示す平面図を有し、維持管理されている。